

分野		科目名		配当年次		開講期	
統合分野		医療安全 I		2 年次		前後期	
単位数		時間		担当教員		実務経験の有無	
1 単位 (15 時間)		12 時間		石丸 綾佳		有	
		4 時間		滝川市立病院 感染管理認定看護師		有	
授業の概要		医療安全の基礎知識を学び、その後の実習でのヒヤリ・ハット報告の検討や KYT の演習を通し、学びを深め、医療安全への意識を高めていく。また、侵襲度の高い採血法を学び、医療安全を意識した技術の習得を目指す。					
到達目標		<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療安全の基礎知識を理解する。 2. 院内感染防止対策について理解する。 3. 事故防止行動がとれる。(看護場面でのヒヤリ・ハットの検討、KYT、安全な採血の実施) 					
授業計画		No.	授業内容			授業方法	備考
		1	医療安全を学ぶ意義。医療事故の概念、ヒューマンエラー、ハインリッヒの法則、ヒヤリ・ハット体験			演習・講義	石丸
		2	院内感染の概念、標準予防策、感染経路別予防策			講義	看護師
		3	MRSA、ノロウイルス、インフルエンザ。医療安全推進室の活動と感染管理認定看護師の活動			講義	看護師
		4	基礎看護学実習Ⅱのヒヤリ・ハット報告用いた、原因と因子の検討。ヒヤリ・ハットと起こさないための対策の検討(講義後レポート提出)			GW	石丸
		5	ヒヤリ・ハット報告を用いた原因と因子の検討。事故防止の取り組み			GW	石丸
		6	紙面上の事例を用いた危険予知訓練(KYT)の実施(講義後レポート提出)			GW	石丸
		7	採血時の安全対策について。シリンジ採血技術の確認(事前課題)			演習	石丸
		8	グループに分かれ、シリンジ採血の技術チェック			演習	石丸
評価		石丸：ヒヤリ・ハットレポート 10点 KTY レポート 10点 筆記試験 50点 工藤：院内感染防止対策 筆記試験 30点					
参考文献		<ol style="list-style-type: none"> 1) 日本看護協会：日本看護協会看護業務基準集 日本看護協会出版会 2006 2) 川村治子：書きたくなるヒヤリ・ハット報告 医学書院 2000 3) 川島みどり：ヒヤリ・ハット事例に学ぶ看護技術 医学書院 2007 4) 山口瑞穂子 監修：看護技術 講義・演習ノート下巻 医学芸術社 2007 5) 矢野真 杉山良子：ひとりで学べる医療安全 照林社 2011 6) 杉山良子：ナースのための危険予知トレーニングテキスト メディカ出版 2010 					
備考							